

## 令和4年度第2回東浦町地域公共交通会議 会議録

会議名	令和4年度第2回東浦町地域公共交通会議
開催日時	令和4年7月21日（木） 午前10時20分から午前11時45分まで
開催場所	東浦町勤労福祉会館 2階 会議室1
出席者・欠席者	別添「令和4年度第2回東浦町地域公共交通会議委員名簿」のとおり
議題	(1) 公共交通の利用状況【報告】 (2) 「う・ら・ら」回数券の民間バス・タクシーでの共通利用【報告】 (3) 「う・ら・ら」お試し乗車券の配付【協議】
その他	路線バスのりつぎ旅（第2弾）
傍聴者の数	7人

### 審 議 内 容

#### ◆まちづくり課長

定刻となったため、会議を開催する。

#### ◇会長

本会議の委員の方が、お亡くなりになりましたので、ご冥福をお祈りし、謹んでお知らせする。

今回の議題は3つである。皆様の意見、ご協力をお願いする。

#### ◆まちづくり課長

始めに、人事異動に伴う委員の変更が1名あったため、新委員を紹介する。任期は、前任者の残任期間となるので、令和6年3月31日までとなる。

本日の出席委員は、委員名簿のとおり、29名中26名で、定数の過半数以上に達しているため、東浦町地域公共交通会議設置要綱第6条第2項により、本会議が成立したこと及び同条第5項により、会議は公開とし、本日の傍聴者は7名であることを報告する。また、本日の会議の内容については、町のホームページで後日公開することを併せて報告する。

#### 議題1 公共交通の利用状況…資料1-1、1-2

#### ◆事務局A

資料1-1、1-2について説明。

#### ◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

#### ◆委員A

JR 武豊線各駅の乗車人数について、緒川駅は、他駅よりコロナ禍の影響等による減少率が低い。また、緒川駅の定期券利用者については、コロナ禍以前より乗車人数

が増加している要因をどのように考えているのか。

◆事務局 A

緒川駅付近に立地する大型商業施設であるイオンモール東浦が、平成 31 年 4 月に増床リニューアルオープンしたほか、緒川駅付近には高層マンションが建築されている。これらの影響により JR 武豊線各駅の乗車人数が増加したと考えている。

◆委員 B

タクシーの利用台数について、利用台数のカウント方法を教えてほしい。

◆事務局 B

乗車地が町内であったものを利用台数としてカウントしている。

◆委員 B

町外からタクシーを利用されて、町内で降車した利用台数をカウントしなくてもよいのか。

◇副会長

タクシーの利用台数については、東浦町地域公共交通計画に記載されているため、事務局から計画の説明をしてほしい。

◆事務局 B

東浦町地域公共交通計画において、タクシーの利用台数は、町内での乗車台数としている。

◆委員 A

タクシーの利用台数のカウント方法は、乗車地が町内であった場合に利用台数 1 台としてカウントしている。集計方法は過去から現在に至るまで変更していない。なお、乗車地が町内の場合は、各タクシー事業者からの報告により利用台数を集計できるが、乗車地が町外の場合は、集計ができない。

◆事務局 B

タクシーの利用台数は、集計方法の関係により、乗車地が東浦町であったものを集計している。

◇副会長

タクシーの利用台数のカウント方法については、東浦町地域公共交通計画に定められており、また、タクシー事業者の集計上の関係となっている。ただし、大府駅や刈谷駅から東浦町に乗り入れる利用状況も多く見込まれるため、町外から乗り入れるタクシーがあることを気にかけていくとよい。

◆委員 B

民間路線バスの「東ヶ丘団地線」の利用者数について、減少理由はアンケート等を聴取した結果なのか、主観的なものか、客観的なものか。

◆事務局 B

民間路線バスの運行事業者に聞き取りを行うほか、減少理由を利用者数から考察をしている。

◇副会長

知多乗合株式会社各路線の利用者数の回復状況が低い理由の見解を教えてほしい。大府線・大府循環線と東ヶ丘団地線は特性が異なる路線であるため、減少理由等も異

なると考えられる。また、回復状況がよい路線があれば、教えてほしい。

#### ◆委員 C

愛知県内の他のバス会社と比較をしても、2割弱程、利用者数の回復が低いものとなっている。路線の特性について、愛知県下の輸送需要は、平日を10とした場合、土日・休日は5から6になる。知多乗合株式会社のダイヤの提供状況は、平日を10とした場合、土日・休日は9になっており、土日・休日に厚いダイヤとなっている。東海営業所管内で交通系ICカードを本年2月に導入し、履歴から利用率を確認したところ、平日を10とした場合、土日・休日は2.5になっており、需要供給のバランスが良くなかったと考えている。今後はID分析等を進めていきたいと考えている。

#### ◇副会長

平日と土日・休日の民間路線バスの利用者数の差は、通勤通学による定期券利用者数が影響しているのか。

#### ◆委員 C

平日と土日・休日の民間路線バスの利用者数の差は、通勤通学など朝の時間帯の影響が大きい。減少理由について、1つずつのIDを確認して、民間路線バスを利用しなくなった利用者の分析をしたいと考えている。減少理由は、テレワークなど、外出や人混みを極力避けるような誘導によって、利用者にバスは感染リスクが高い乗り物であると認識され、通勤手段を公共交通から自家用車に移行された方も多くいたことが一因ではないかと考えている。

#### ◆委員 D

新型コロナウイルス感染症対策を公共交通が行っていることを中部運輸局としても周知していく。

JR武豊線各駅の乗車人数の推移について、尾張森岡駅と東浦駅は、令和2年度から令和3年度にかけての乗車人数の回復が他駅より低く、平成30年度と比較しても減少傾向が似ている。JR武豊線の乗車人数の減少は、リモートワークや通勤通学の影響だけではなく、地域の団地等の人口や就労就学の人口の減も考えられる。JR武豊線の利用だけではなく、バス利用に関しても、この地域の方々には、地域の需要として、町内移動の別のおでかけ需要を引き出す、地域的な需要喚起や、移動の町内の地産地消など、どのように考えているか教えてほしい。

#### ◆事務局 C

町内移動をどのようにしているかの調査は必要であると考えている。東浦駅の乗車人数については、高校生の影響が大きいと考えている。東浦高校の平成29年度の調査では、約500人の学生のうち、半数がJR武豊線を利用している。コロナ禍による休校や部活動の中止などが乗車人数に影響していると考えている。全体的な利用としては、コロナ禍によるリモートワークやオンライン授業などの影響が大きいと考えている。

利用促進については、乗り方教室や路線バスのりつき旅などを継続的に実施する予定である。

#### ◆委員 E

藤江地区から本会議の会場に来られる時間のバスがなく、8時台と9時台のバスが少ないため不便であり、この時間帯の便が無いことについてどのように考えているか。

また、町運行バス「う・ら・ら」は、利用しづらいから利用者が減少したのではないか。

#### ◆事務局B

令和3年2月のダイヤ改正では、藤江地区に関しては、平成30年度のダイヤと同じような時間帯になっていることから、令和元年10月のダイヤ改正やコロナ禍の関係でマイカーを利用するように移り変わったことが、藤江地区の利用者離れの原因のひとつと考えている。ダイヤ改正の時期については、運行委託の契約の時期が令和6年10月となっており、令和5年度からダイヤの調整をする予定となっている。一部の地域のバスを増やすということは、他の地域のバスを減らすことにつながるため、本会議で協議していきたいと考えている。

#### ◆委員C

民間路線バスの回復状況が低いことについて2点報告をする。

1点目は、ここ2年と数か月は、需要供給調整なしで、ダイヤを削減したところは空港線の一部のみとなっている。ダイヤの確保・維持に努めているが、令和3年度は一般路線の全路線が赤字になっている。東ヶ丘団地と大府線に関しては、補助金を受給していないが、補助金を受給している路線が半数あり、補助金を受給しても9割以上の路線で赤字となっている。路線の存続に対して危機感をもっている。つきましては、路線を確保・維持し、地域の役に立つため、需要に見合った、利用がないダイヤの需要供給調整の検討を始めている。国内線を中心に航空旅客が回復傾向にあるため、空港線の復便を検討していく。利用促進としては、交通系ICカードの更なる導入などを進めていきたいと考えている。

2点目は、新型コロナウイルス感染症第7波の影響について、第6波では従業員に大きな影響はなかったが、今回は、業務上の注意喚起に、私生活での注意喚起を加え、路線を守るために取り組んでいるが、現在6名が濃厚接触又は陽性になっている。

平日と土日・休日は就業数が変わらない状況であり、BCP(事業継続計画)では、インフルエンザの罹患者が多くでた場合は、休日ダイヤにするとなっているが、休日ダイヤの便数では対応できないと想定されるため、万が一に備え、現在、緊急時のダイヤの準備をしている。

#### ◇副会長

民間路線バスの回復状況が低い理由を究明する必要がある。土日・休日のダイヤを減らしていない理由を考えていた。東ヶ丘団地は土日・休日の方が多いのではないか。削減をする場合は、事前に本会議に情報提供をしてほしい。

利便性向上の件について、空港線は刈谷駅と緒川駅の間でも利用できる。本区間は、「う・ら・ら」の刈谷線もあるが、十分な本数がない。イオンモール東浦を含め利用ニーズが高いため、刈谷中部空港線の活用方法について以前議論したことはあるが、東浦インター付近を通るため、復便する際に町内にバス停を増設することを合わせて検討してほしい。

大府線・大府循環線について、長寿医療センター、あいち小児センター、あいち健康プラザ、げんきの郷の4つについて、特に減少したバス停や回復状況が低いものは分かるか。この4つが乗車人数の8割ではないのか。

#### ◆委員C

地域の自治体の方々と議論をしながら、需要供給調整を進めていきたいと考えている。案については、関係部局に相談をしたいと考えている。

空港線の途中乗降について、需要の確認をしたいと考えている。

大府線・大府循環線の4か所の乗車人数については、確認をする。

#### ◇副会長

大府線・大府循環線は、黒字路線であったと認識している。平常時は黒字である本路線は、補助金を受けていないため、このような非常事態に弱い。

「う・ら・ら」は、利用者数が回復傾向にあり、路線によってはコロナ禍以前よりも多いものもある。「う・ら・ら」の利用者数が増加した要因は、運賃が安いことや町内移動が多いことなど、色々な理由があると考えられる。それらをよく考察し、民間バスの各路線に対応した改善方法を検討していく必要がある。

#### ◇会長

公共交通の利用は回復傾向にあるが、回復状況は様々である。

「う・ら・ら」は、良い回復状況となっているため、「う・ら・ら」の回復状況の理由を調べることで、民間路線バスにとっても有益な情報が得られるかもしれないと考えられる。

民間路線バスについては、大府線・大府循環線の4施設の利用状況の確認、路線全体では北と南で違いはあるのかなど、分析をする必要があると感じた。

空港線のローカルの乗客乗車について、刈谷、緒川、東浦インターまでを含めて、以前からの懸案であるが、沿線の地域住民の利便性向上を図りたい考えがあるため、前向きな協議をしたいと考えている。

### 議題2 「う・ら・ら」回数券の民間バス・タクシーでの共通利用…資料2-1、2-2

#### ◆事務局B

資料2-1、2-2について説明。

#### ◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

#### ◆委員F

乗車地か降車地が東浦町内に限るということについて質問する。三河に営業所があり、刈谷駅、安城駅、知立駅、更生病院、刈谷総合病院などにタクシーがいる。例えば、東浦町の方がJRの電車で安城駅に行き、安城駅から更生病院にタクシーに乗る場合に回数券を使おうとする場合も考えられる。回数券の支給時等に利用方法の周知をしていただきたい。

#### ◆事務局B

乗務員の方の負担にならないように、回数券の利用ルールについて、住民の皆様に

周知をしていく。

◆委員 D

タクシーでの共通利用は、上限が 20 枚までということによいか。

回数券の利用後に、事業者と町の間で清算を行うということによいか。

◆事務局 B

一度に使用できる枚数は、上限 20 枚までとなっています。一度に 21 枚以上使用することはできません。

清算方法については、後日、回数券と請求書を事業者が町に提出していただくものとなっている。

◆委員 G

タクシー事業者は厳しい状況にあり、その中で、公共交通の立場として、本会議に取り上げていただいて感謝している。タクシーが公共交通であることを認知していただき、他市町も含めて協力関係を築いていきたいと考えている。

◇副会長

東鉄タクシーで東鉄バスの回数券を使える事例は知っているが、本事業のようにコミュニティバスの回数券を使用できるものは珍しい。

東浦町では、議題 1 のようにすべての公共交通機関の利用状況を示し、議論をしているように、公共交通全体をたくさん使用してほしいという考えから立案した事業である。タクシー業界でも東浦町は先進的に取り組んでいると宣伝してほしい。

本事業の周知については、ポスターなどを町内のタクシー乗り場やバス停に貼るとよい。刈谷駅や大府駅では、利用者が勘違いをしてしまうため、町内の公共交通を使用する場所に貼って宣伝をするとよい。

◆事務局 B

より多くの方に周知できるようにしたい。

◆委員 D

回数券の利用例について、民間バスで料金 180 円に対して回数券を 2 枚使えないことや、タクシーで料金 2,200 円に対して回数券 21 枚使えないことなど、利用できない場合を強調して周知する方がよい。

◆事務局 B

利用者が分かりやすいように周知する。

◆委員 F

料金 180 円に対して回数券 2 枚を使い、お釣りは不要ということができないという認識で合っているか。

◆事務局 B

その認識で合っている。利用できる回数券の枚数は、控除額が料金を上回らない範囲としている。

◇副会長

利用できる回数券の枚数を控除額が料金を上回らない範囲としている理由は、回数券で控除した金額を町が補填するためである。利用者が「お釣り不要」とした場合、お釣り分が加算された金額が、町の負担になってしまうため、控除額が料金を上回ら

ない範囲としている。

利用者の中には、「お釣り不要」という方もいるため、利用条件についての周知が必要である。

#### ◆委員 F

タクシーでは、料金 990 円に対して 1,000 円札で支払い、10 円のお釣りは不要という方が実際にいる。

#### ◇副会長

資料 2-2 に「経路検索アプリの予想料金」と記載があるが、この表現は誤解を招くことがあるため削除し、「2,220 円程度」のように記載する方がよい。

大事なことは 2 点あり、1 つ目は、乗降地のどちらかが東浦町であること、2 つ目は、お釣り不要ができないこと。この 2 点は、誤解されやすいことなので、強調して周知し、注意してほしい。

#### ◆委員 F

タクシーで「新田分団詰所」から「長寿医療研究センター」まで 2,220 円で行くことは、できない。タクシー乗り場でない場所は、お迎え代が別途かかるため、2,220 円を超えてしまう。タクシー乗り場から出発する場合は、お迎え代が不要となる。

#### ◆事務局 B

本日いただいた意見を踏まえて、分かりやすいものを作成する。

#### ◇会長

利用者からすれば、余分に出して、お釣りを求めることは、当たり前のことではあるが、本事業のシステム上では対応できない。利用者が回数券の共通利用に関するルールを理解していない場合、バスやタクシーの運転手が説明する機会が増えて、対応にストレスを感じる可能性がある。お手間を取らせてしまうが、本町もルールの周知に努めるので、ご協力いただきたい。

### 議題 3 「う・ら・ら」お試し乗車券の配布…資料 3

#### ◆事務局 B

資料 3 について説明。

#### ◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

#### ◆委員 A

お試し乗車券の配付数について、1 回あたり 300 枚を配付するのか。

利用実績を把握する予定はあるのか。

「う・ら・ら」回数券の民間バス・タクシーでの共通利用に影響はあるか。

#### ◆事務局 B

300 枚は年間の配付数を想定しており、路線バスのりつき旅は、1 回の定員が 15 名となっているため、15 枚を予定している。

「う・ら・ら」のお試し乗車券であるため、民間バス・タクシーでは利用はできないものとしている。

◆委員 A

「う・ら・ら」のお試し乗車券は、利用者や運転手が勘違いしないように、民間バス・タクシーでは利用できないことを周知してほしい。

◇副会長

「う・ら・ら」のお試し乗車券は、「う・ら・ら」のみで利用可能でよいか。

◆事務局 C

「う・ら・ら」のみで利用可能であるが、利用者が誤って民間バス・タクシーで提出してしまった場合に運転手が混乱しないように、利用者に配付する際に、説明をしていく。

◇会長

その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

挙手

◇会長

可決とする。

その他 路線バスのりつぎ旅第2弾…参考資料

◇会長

その他で何かあるか。

◆事務局 B

参考資料「路線バスのりつぎ旅第2弾」について説明。

なお、行き先である刈谷市美術館は、令和3年11月19日・20日に開催したワークショップにおいて、参加者の方が行きたい場所として挙げたこと、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し移動にかかる所要時間を短くしたいこと等から選定した。

◇会長

本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ、閉会を宣告する。